

あるあるCIO® 実践レポート

実践したところ

- ・ 2019年6月 銚子信用金庫様 千葉県銚子市
- ・ 企業規模 400-500人
- ・ 地域中小企業のIT活用を支援する立場

実践の経緯

- ・ 30歳～35歳前後の営業担当者様向け社内研修であるあるCIO™を実施。
- ・ 地域金融機関としてIT活用の支援に力を入れていきたいという方針の中、座学だけではなく、ゲームを組み合わせる積極的に参加しながら楽しくITを学べる研修としたいというご要望に対応。
- ・ お客様の会社規模は従業員10人前後の事業者が中心で、業種としては建設や製造が数としては多いが、地域性から観光が大きなテーマになっており、昨今はSNSやIT導入補助金などIT活用を検討する機会も増えているとの背景。
- ・ 研修の構成としては、顧客の成長サポートをテーマにした、経営支援の1日研修の中の3時間を担当。「中小企業のIT活用ニーズと課題」の講義を30分。ゲームと振り返りで130分。SNS活用の講座で20分。
- ・ 受講者30名(3ペア×5テーブル)、ファシリテータ3名。各テーブルで役割分担いただいて実施。



主なご感想

- ・ コマの進みが遅かったが、その分IT経営レベルや顧客・従業員の満足度が底上げできて、点数につながった。どのようなITを導入するといった経営に繋がるかということがゲームを通じて理解できた。
- ・ 手持ちの現金は結果的にマイナスとなった。しかし、IT投資をすることによって、顧客満足度が上がっていく部分でやはり設備投資は重要であるということがわかった。また、顧客満足度だけでなく、従業員満足度もしっかり高める活動をしている企業が成長するのだと感じた。
- ・ 経営課題に対して、想定した解決のために導入すべきITソリューションが、最終的に正しかったというのが自信になった。今後、お客様の経営課題に対して、ITを活用して課題解決の支援をするという具体的な営業活動につなげていきたい。
- ・ 「ITのリスクもしっかり学ぼう」の部分でマイナスのマス目に止まることが多かった。IT投資に関して、プラスの投資だけを考えがちだが、セキュリティ対策等リスクを回避するための投資も重要なんだと改めて実感できた。
- ・ 企業の各部門や業務ごとに適したITソリューションが用意されていることがわかった。そして、そのITソリューションを導入し、効果を出すためには、企業がどのような経営課題があるのかをきちんと把握することが重要。また、IT導入にあたってはIT経営レベルやITに関する知識も必要である。IT導入補助金も実施されているが、費用に関して具体的にどれくらいかかるのかも知りたい。

ファシリテーションの工夫・気づき

- ・ 事業者の成長を支援する信用金庫営業担当者様向けの研修ということで、ゲーム開始前に具体的なコンサル事例を元に、企業の各成長ステージでどのようにITを活用して発展してきたかを詳しく紹介した。
- ・ 参加人数が多かったため、ファシリテータ3名で対応。冒頭の経営課題説明からゲームルール説明までを全員向けに実施し、開始後はテーブルを掛け持ちで適宜インシデントの解説を行った。
- ・ 時間短縮のため、プロジェクトフェーズを1/3カット（小規模事業者に対応する部分は残す）。また、他のフェーズでもいくつかマスをカットした。カットするマスには付箋を貼り、飛ばしてもらった。
- ・ テーブルによっては想定より早く1位ペアがゴールしてしまい、他の2ペアが最後のIT投資を行えないという状況が発生。そのため、2位ペアがゴールした時点で終了とするよう変更した。